（冊角）（每月曜及祭日の翌日休刊）（明治卅九年七月一日第三種郵便物認可）明治四十一年十二月十七日　京城新聞　（木曜日）　第百卅七號　（一）

京城新聞

●韓內閣の性質（讀賣新聞所載）

韓國現內閣は、從來同國の內閣中最も壽命長きものにして、比較的治績の見るべき有るに關せず、近時其の評判兎角面白からざる事情あり、特に內閣大臣中の立物たる宋秉畯と一進會長李容九との間柄、頗る圓滑を缺くに至りて、一層民衆の氣受宜ろしからず、且つ親近大韓協會の勢力漸く侮り難く、遂りに現政府の施設を攻擊し、次第に人心を收攬し來るの形勢あり、旁々腹背敵を受くるの窮地に陷りたれば、今や少しく半島の政界に通ずる者は、皆な孰れも內閣交迭の免る可らざるを觀測せざる無く、統監伊藤公の如きも、略ぼ既に決する所ありとさへ傳説せらる。

蓋く既に現內閣の不人望なる以上は、今後稀粗職の事に出づるも、部分的更迭の途に出づるも、幷は宜ろしきに隨ひ之れを決行して不可なく、吾人は毫も現政府に對し、庇保の勞を執らざるべからざる必要を發見せず、但だし茲に少しく腑に落ち兼ぬる一疑問有り、事彼れが內閣の動搖に關し、當然に附帶する所のものなるを以て、之れに就て敢て一言を費やさんと欲す。

其は他に非ず、吾人は今日迄韓國內閣の性質に付て、特種の觀察を下だし居たるものにて、假りに內閣の種類別けを爲すとせば韓國內閣の如きは、世の所謂政黨內閣にもあらず、將た所謂帝室內閣にもあらずして强いて形容すれば、統監內閣とも名くべき性質のものと想像し居たり、而して其統監國の大臣は只だ員に備はる位のことゝ想像し居たる也、遠き將來のことは別問題とするも、當分の處は閣臣一同管務を次官に委ね、其役目は官判を捺するが關の山にて、先づは大臣學の研究生と見れば大したる過ちも無からん位に高を括り居たる者也、此想像が過てるか否かは、姑らく措き、吾人は現に角傷く解釋し居たるが爲に、內閣其者の評判が直ちに大臣の上に落下し來る如きは、實は今日迄思ひも設けざりし所にして、偶ま今次の如き政變の風聞を耳にするに方りては、寧ろ異樣の感無きを得ざる次第なり。

是に於て吾人は疑ひ惑ふといふよりも、殆んど狼狽の態度を以て、此風聞を迎へ、俄かに韓國の內閣は、一進會內閣若くは大韓協會內閣と云ふが如き、政黨內閣風のものにて、彼の次官に推薦せられたる日本の俊才は、全然政局に關與するの機能なかりしものなりやとの不審を抱くに至れり、是蓋し現內閣大臣の名實共に大臣たるに非ざる限り、大臣其者が攻擊の焦點となり、延いて政府の顚覆を見んとするが如きは、本來有り得べからざるの道理に屬すればのみ。

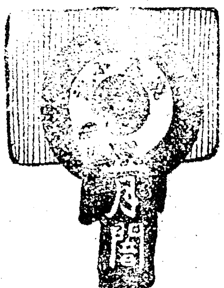
果して然りとすれば、疑問は更に一步を前めざる能はず、何が故に韓國の大臣は、吾人の想像に反して、偲くも實權を掌握し、直接に民衆の毀譽褒貶を一身に蒐むる如き資格を具有するに至りしやと、言を換ふれば孫くとも次官政治たるべく、否次官政治たらざるべからざる筈の韓國をして、何ぞ殊更に無經驗無經綸の大臣政治たらしめしやと、今一層適切に言へば、本來統監府の韓國に臨む、必ず一視同仁ならざるべからざるが故に、其政府は統監府の手足たるを必要とし、隨て吾人の所謂統監內閣たらざる可からざる關係あるに係はらず、何が故に一朝化して政黨內閣類似のものたるに至りしやと、當初日本の意見を披瀝して、次官たらしめし趣旨の存する所は、恐く吾人の想像せし如きものにて有りしならん、然るに今は即ち然らず、然らざればこそ內閣動搖の問題も生じたるなれ、吾人は是に於て夢たしく韓國の政治に失望し、假令民望に違て內閣を交迭するも、此事偶ま一の動機となりて、將來政變の必ず頻々踵を接して起り、其局遂に累を統監府に迫ぼし、之をして彼れ韓民の怨府たるに了らしむるの日到る無きやを憂ざるも得ざらんとす。

要之、韓國內閣の動搖は、日本人の政治的勢力が意想外に微弱なるに非ざれば、到底想像し得べからざる問題たり、統監府の監督と次官の權能とが、相待ちて充分遺憾なく伸暢せられんには、內閣の出來不出來は畢竟之れを議するの餘地なき道理なるに反して、今日其の然らざるを見るは、彼等の威信と勢力とが、半島に徹底せざるを證するものと做すも、亦た何ぞ妨げん、是れ動搖せる韓國內閣に附隨して、吾人の斷じて默過し能はざる所なると同時に、聰明なる伊藤公が、今に於て思を此に致さんこと、吾人の切に熱望して已まざる所に屬す。

●（新）（刊）（紹）（介）●

▲韓國中央農會報　論說には農務局長中村氏の「國有未墾地利用法實施後の狀況」岡氏の「造林の成績に就て」等外數種あり（二卷十號一部二十錢京城大和町韓國中央農會）

▲少女の友　頁數の割合に寫眞豐富なり而已ならず記事面白く採題又巧妙確かに少女の友たるの名に背かずといふべし（一卷十一號一部十錢東京々橋區南紺屋町實業の日本社）



（八十五）　河合柳葉

た君は微笑しつゝいよ〱聲を潜めて、

「よい思案と云ふほどでも、ありませんけれど、或身分ある人が惚た女が從はないので睡眠術をかけて思を遂げた新聞がありましたので、それとなく浮世噺のやうに話して聞かした所が、矢張自分でも思ふ戀が遂けられないで、あゝか、斯うかと種々に思ふ矢先だつたと見わて、私に內々頼むにはどうか御前様に願つて、菊野を連て菊觀に來て下れと云ふのでせう、扨は何かしら考へのある事であらうと、承知して這つて御前に頼むだ所が、御前も直に許して下すつたから貴方さんのお相手だから、私から何と云ふ理に行かないもんだからこれも御前様から餅をかけて頂いて、大山の宅へ兩人連で出掛たんです、すると私が坐敷を外してる間に、辯しい樣子は知らないけれど、どうやら魔睡術でもかけた樣子で、死んだやうになつてる菊野を、隣座敷へ連れ込むで……。」

「思ひを遂げたのか。」

「まあ〱那樣事なんでせうよ、ほゝゝ私窓の隙間から覗いて見て吃驚爲ましたけれど秘密さへ握つて居れば、萬一の時の役に立つと思つて、まだ昨日の事でもあるし大山には何にも云はないけれど、見かけに依らん度胸があるから、旨く馴付けてれきや役に立つかも知れませんわ。」

「はづかの間に、なか〱種々の狂言を演つたもんだ、して後室の機嫌は甚麼樣子だ矢張嚴しい事を云つてるのか。」

「乘り込むだ晩は、會ふとか會はないとか隨分頑固らしい事を云つてたんです、けれど、それも大山が執り成して下れて、後室にも御孃樣にも其他屋敷に居る重立つた者に皆んな挨拶して、今日ではモウ天下晴れて侯爵の愛妾と誰も知つたやうですよ。」

「そいつは、案じた程でもなかつた、しかし我々が目的の大芝居はこれからだからね何事に依らず尻尾を見せないやうに、旨くやらないと千日に刈つた萱になつて了ふからね。」

「れ前さんが乘込むで下れたからには、モウ何事も後見が出來たのだから、必然旨く遣れますわ。」

「まあ〱私もまだ着いたばかりで、屋敷の樣子が些とも分らないから、暫時は宗匠の面を被つて、樣子を見た上でホッ〱落を明けるこゝ爲やう。」

「なか〱人目の多い屋敷だから、些とも油斷はなりませんよ。」

「では、いづれシッポリと話したい事もあるが、それは御前の不在の間に、寛り會つて話すと爲やう。」

「もう、同じ屋敷に居るからには、急ぐ事がありますか、ほゝゝ。」

山川も愉快さうに笑つて、やがて君子の室を出た。

そして自分の室と定められた室に來て見ると火鉢にかけた鐵瓶からは湯氣が立昇つて茶器に菓子まで添へて運んである。

先づ悠々と茶を喫して、椽側に臨むだ障子を開けると、其處には大きな梧桐があつて其の下には萩と桔梗が秋の色彩を誇る如く咲いて居る。

日はもう薄れて、室內は隅の方から暗くなり始めた。

廣告

差押保證金
訴訟印紙料
凡て訴訟費用便利御用達可申に付精々御利用被成下度候
京城長谷川町二丁目
和泉法律事務所　坂本兵太郎

唐津石炭各種卸小賣
明治町三丁目百九十三番戶
近藤商店

▲歲暮大賣出し
正札より割引
直輸入品
京城本町二丁目
同　三丁目
辻屋
本店電話二四八番
支店電話三六六番

廣告
院長　一般外科　醫學士　尾崎元實
副院長　一般外科　醫學士　森元良雄
耳鼻咽喉科　醫學得業士　戶井源吉
眼科　醫學得業士　名迫行從
產科婦人科　醫學得業士　日野武男
本院々長以下去ル十三日ヨリ着仁昨十四日ヨリ執務ス此段廣告ス
但シ從前ノ往診時間ヲ全廢シ何時タリトモ申込次第往診ス
明治四十一年十二月十六日
仁川居留民團立　仁川病院

士耳古最大莨製造所デーエス、パ子リス會社
○品質精選●
●風味好良●
●トルコ煙草直輸入

インペリアル　紙巻金口
スルタン　同
ハレム　同
ローヤル　同
ジャーパン　同
パサー　同
アリストカラ　同
ハイライフ　キタロル
アマシース　紙巻
エキストラファイン　同
十本入　二十本入　廿五本入　五十本入　百本入
各種新荷着
右卸小賣共低廉ニ販賣致候
仁川代理店　仁川港本町角　穎原兄弟商會
京城本町四丁目角　デーエス、パ子リス會社出張所

景品附歲暮大賣出し
十二月十五日より同三十一日迄
御買上高金壹圓每に景品券一枚進呈
一等　郡內蒲團　一組
二等　瓦斯蒲團　一組
三等　更紗蒲團　一組
以下略す一本も空籤なし
吳服洋反
太物蒲團
あ
京城郵便局前
秋山商店
電話一七六番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町一丁目六十七番戶
辯護士　岡田榮
（電話三九八番）

流行の新柄ゑり地帯あげ肩掛新調 其他種々
京城明治町一丁目 ゑり徳商店

●韓京覺帳（第六）

水浪生

●諺に水に溺れんとする者は藁にも摑まると云ふが實に其如くにて流石の宋秉畯も自家及び一進會の悲運に就ては何等施すべき策無く殆んど困じ果たる末なりければ余の敎ふる策なりとも彼自身と會どに有益ならんには之を遂行すべしと誓ひぬ。

●余宋に說いて曰く今の韓國には對立せる二箇の政權者あり、一は韓廷にして一は乃ち伊藤統監なり余の知るどころを以てすれば一進會と君とは韓廷には嫌はれ伊藤公には喜ばれず甚だ面白からざる境遇に立てり、如斯んば悲運挽回も何もあつたものにあらざるなり。

●君にして果して日本側の信用を博し廣き意味に於て韓人一千萬の將來に就て計り同時に君一身と一進會との悲運を挽回せんとせば此際思切つて韓廷と遠かり伊藤公に接近せざるべからず、宋答て曰く「貴意は我に於て良く了解せり我は今以後明瞭に伊藤統監に附從すべし只如何にせん伊藤公の我を信用せざるを」余宋に言つて曰く君にして果して其決心ならば余は直ちに余の策を君に敎ふべし君必ず之を行へ。

●君の知る如く洪州の暴徒は今や猖獗を極む而して近き將來に於て開島に於ても暴徒の起らんとするは君の言の如し之等暴徒に韓廷が直間接の關係を有するは余の言を待たず尤も世の傳ふるが如く韓皇自身が暴徒に關係を有せらるゝや否やは余の知らざるところなれども宮中數多の雜輩が糸を引き居るは纔かに事實なり。

●伊藤統監は遂邊の消息を知るを以て宮中肅淸を企て居らるれども未だ何等手掛を發見せず甚だ困り居らるゝ樣子なり、依つて君は伊藤公に向つて宮中肅淸の手掛り及び開島暴徒を未發に防がんが爲正に入城せんとする儒生金升文を捕ふべし此事にして成勅せんか統監の君に對する覺は惡かるまじ。

●三十九年六月九日宋余の許に來り報じて曰く君の策を實行するは今夜なり、例の金升文は已に入城して宮中に在り、彼必ず密勅と馬牌とを携へ今夜半宮門より出て來るべし因つて我は部下●●個强の壯者數十名を各宮門の邊に配置し金を捕ふるの手配を爲したり、君請ふ之より我と同道して或場所に行き部下より來る成否の報を待たんと。

●余が其夜宋と同行したるは旭町三丁目の料理店開進亭なり、亭は其夜が開業にて余等二人はたわいもなく乘客の中に打混り時を過しつゝ只管部下より來るべき報を待てり。

●果然未明に於て金升文捕獲の報來れり、依つて宋と余とは相携へて永樂町なる一進會本部に駈付けたり。

東京電報

▲井上大將と恩賜金 井上大將危篤につき一兩日中正三位に叙し旭日大綬章を給ひ尙生前の功勞を嘉みせられ金壹萬圓下賜の筈

▲侍從武官後任 岡澤侍從武官の後任は副島參謀次長か安藤第十四師團長か長谷川軍司令官の中決定さるべしと(以上十六日發)

雜報

●開城の統監歡迎 伊藤統監一行は開城に着せられ李財政課を視察せられ李健炳氏の宅に立寄られ高麗宮殿の舊趾を探られ後開和館に投宿せられたるが日韓人の歡迎盛んなりき

●統監の歸任 伊藤統監は昨日午後三時六分開城を發せられ午後五時四十分南大門停車場に着歸任せられたり

●東洋拓殖の矛盾 東洋拓殖會社の事業遂行に付內定役員の一人たる某氏は語て曰く東洋拓殖會社は純然たる商事會社にして其性質よりせば專ら株主の利益を圖るを以て主眼とすべきも現に法律に依て規定されたる會社の目的なるものは一種の行政事務をも含み居るが故に會社當事者として專ら株主の利益のみに着眼するを許さず玆に行政事務と株主利益との衝突を來す次第にして其調和は理事者の最も困難を感ずる所たるべし世間或は滿鐵の例を引く者なきにあらざるも滿鐵は會社創立の當時既た收入を得つゝある鐵道を有し爾後は只其改良工事と一部の行政を行ふに過ぎざるに反し東洋拓殖は全然創設にして而も其性質多く韓國開發と云ふ一種行政上の目的を伴ふものなれば株主の利益を圖ると上に於ての成蹟到底滿鐵の如くなる能はず要するに東洋拓殖は其性質商事會社なるも半ば行政を行ふものにして而も事業の性質大体收利に困難のものあれば同會社の株主にして他の營利專一の會社と同一の利益を收めんことを欲するものあらば大なる誤謬なりと云はざる可からず又同會社の最も矛盾せる一例は前陳の如く一部行政を行ふに拘らず何等の行政權者しくは其委任なく純然たる商事會社として行政の實際を行はんとするものなれば事業遂行に際し其困難不都合や蓋し名狀すべからざるものあるに至るべしと云々

●拓殖假事務所移轉 東洋拓殖假事務所は目下假に大藏大臣官舍を以て充てあるが本年內に創立總會を開き愈々會社設立に至らば明年一月より會社假事務所を東洋協會に移轉すべしと

●東洋拓殖の難關 東洋拓殖會社は多大の信用を以て迎へられ株式募集の如き意想外の盛況を呈したるも昨今に至り其前途を憂ふるもの少からず而して成立早々の難關は

▲韓廷の土地提供 韓廷の出資三百萬圓に對する土地提供は從來驛屯土として韓國十三道に散在しあるものなれば之が受授を爲すには如何にするや由來韓國の組織として何郡には幾万町步あり其租稅は幾萬圓なりとして請負人に請負はしめ來り土地臺帳あるにあらず小字番號等を記入したる地圖あるにあらず其田畑は何國の何れにあるか明瞭ならず韓廷の倉庫に山積しある書類中より其關係書類を選り出し實地に引合はす手數は非常なものなり假りに多數の時日を費し實地引合せ迄進むも從町步幾反步と稱するも實際の相違甚だしければ勢ひ丈量して受取らざるべからず其手數其費用は實に莫大のものなると同時に一朝一夕に運ぶことは思ひも寄らず

▲田地の掬換 韓人の常として上田と下田と掬り換ふるの手段は容易に行はるゝを以て到底普通の考にて相當の田畑を受取り得ること能はざるべし韓國の事情に通ずる者は早くも此疑問を起し會社の前途を危みたるが會社多數の幹部は之に氣附かざるもゝ如し獨り宇佐川中將は此點を憂慮し居るも其良法を見出さゞるものゝ如し

▲理事の無經驗 特に今回撰任に內定せる理事は孰れも地方官にして實業上の經驗を有せざるのみならず韓國の事情に通ずるもの一人もなく是等の顏觸れを以て總て日本と事情を異にせる韓國拓殖の重任に當るは實に滑稽にして會社不信用の聲は漸く盛ならんとす前途の失敗は到底免かれざるべし

▲前內閣派の豫言 は當時本事業を輕蔑し到底物になるものにあらずと冷語を發し居たるに今は其豫言的中せんとする傾向を來たしたれば陰かに微笑を洩らしつゝあるは面白き對照なり

▲補給金の徒費 本會社が一たび大頓挫を來たしたる後適任者の入り換り經營する迄は其給に就くこと能はざるべく夫迄は三十五萬圓の補給を徒費し終る位は上出來なるべしとの批難は今や四方に起れり

●滿鐵の不評判 滿鐵の組織は徒らに頭のみ大にして肢体振はず殊に本社の組織に於て然り而も改革の本社に及ぶものなく改革の實蹟不十分なりとの評あり國澤、大塚、久保田(勝美)淸野の四理事實務を視他は名を存するに止め置くことになるべしとの說あり

●駐韓軍減少 韓國暴徒は漸次鎭定せるを以て小倉第十二旅團に屬する各中隊外に騎兵一箇中隊は明春匆々引揚げに決定したるが同隊引揚後の駐屯軍は全然一ヶ師團となり隨て大將の司令官を置く必要なく同時に現今の師團編成交代法を便宜の聯隊より一ケ中隊若くは一大隊を取り中隊又は大隊の編成交代法に改正し殆ど獨立師團の如く編成し爾後司令官は中將を以て之に充つるに內定せりと

●昨日の豫算會 統監府に於て昨日臨時豫算會議を開き明年度各部豫算に關する審議をなし荒井度支部次官の各部の要求に對する度支部查定の大体を說明して散會したるが尙本日各部と度支部との間に於て細密に亘る說明交涉を重ねたる上近日更に臨時豫算會議を開き決定の運びに至る筈なりと云ふ

●木內次官の訓示 木內農商工部次官は一昨十五日午後二時目下開會中の水產技術官協議會に臨み一場の訓示演說をなしたるが次官は先づ各員來集の勞を謝し次で左の意味を演述せり 政府は韓海に於ける漁業が行政上に何等の保護取締を施すべき規定なく又此れが機關なかりしを昨年の官制改正の際本部に水產局を設け韓國漁業者は勿論日本漁業者をして從來の未開を啓發して此の無盡藏の漁利を收得せしむる事に努め今回は更に漁業法を發布して此の目的を達する道を講せり諸君は兩國漁民に對し一視同仁の態度を以て克く此れを指導し殊に漁業法の如きは一般に其の制定の趣旨の存する所を周知せしむる必要あるを以て能く此れを講究し漁業者をして其の據る所を迷はしめざらん事を希望す此れに關する諸君の意見は遠慮なく當局に該示し又漁業稅則の如きも度支部に於て近々制定發布せらるゝ豫定なるにより本則に於ける稅金の程度及び其の賦課徵收の方法に就ては直接漁民の利害に至大の關係を有するを以て此れに對しても克く諸君が平常漁業者の實狀に對し得失適否を鑑別せる意見を具狀せられん事を望む 本會議に於ては主として庵原水產課長をして其事務を統理せしむるを以て詳細の事項は同課長より指示すべく諸君も充分に審議を盡されたし云々

●へ博士の講話（日本人俱樂部歡迎會席上に於て）

へ博士歡迎會は豫報の如く一昨夜日本人俱樂部に於て開會されたり來會者官民百六十八名市原第一銀行總支配人の開會辭に次ぎ曾禰副統監の挨拶あり終て博士は約四十分に渡りて左の講話を試みられたり

市原さんから立派なれ言葉を頂戴し尙ほ副統統から極めて麗しいれ言葉を頂きましたが自分は今で能く分る事と思ひます自分の旅行は凡そ二十三年前に始めて波斯を旅行して歸國をしました第二回は瑞典から波斯に大使を送るときに隨員の一人となりて波斯に行きましたが波斯で大使の一行と別れて單獨旅行をしまして是れが中央亞細亞を旅行した端であります第三回の旅行は露西亞を經てギルギス大荒原ですが南東に向つてカザリンスク迄二千吉米を徒步旅行してパミュールを越しました其時に雪の爲め旅行する事が出來ないときは犁牛と云ふ牛の種類の獸物が居りまして是れは非常なる强い力のある動物で是れを怒らして其の雪の中に突込させて其坑の開いた處を自分等は段々に通つて行くと云ふ風にしてパミュールを越へましたそれからタクラマカンの砂漠を橫斷する事として四人の土人を連れて行きましたが非常なる困難に遭遇して途中三人の土人は死んで終つて殘りたのは自分と忠僕カシーム丈でありましたそれから西藏から遂に北京に來りまして歸國をしました

第四回の旅行は千八百九十九年露領高加索から裏海に出で支那トルキスタンを橫斷してタイム河に出ました玆で一隻の船を造りましたが大きな船でありまして測量も船の中で出來かし寫眞の設定も出來ると云ふ樣な譯で非常に便利な船でありましたが此の船の上に四ヶ月間を過しました此の河を段々と進むとヤンギマールと云ふ處がありまして玆は船が通ずる事の出來ない程の砂で不止得で玆で船を下りて西藏中部を出て印度から歸國をいたしました（以下次號）

●水產協議會（第二日）昨日午前十時開會庵原水產課長議長席に就き漁業法施行細則に基き官廳に於て取扱ふ可き方針及び此れに對する準備に就き協議し午后五時散會したり尙本日臨席の筈なりし木內次官は一昨十五日午後二時臨席し別項の訓示演說をなせり

●本年度の租稅收入 本年一月以降十一月に至る租稅收入濟額を前年の同期間の收入濟額に對比するときは左の如し（關稅を除く）

	圓
本年度	六、〇五四、〇〇七、五八三
前年度	六、七三七、七四二、六九七
比較減	六八三、七三五、一一四

而して租稅科目別に見るときは地稅に於て一百一萬六千圓の減差ありて本年の減收は全く地稅の滯納に基因し戶稅に於て十萬二千圓驛諸稅に於て十八萬六千圓を增し其他の各稅孰れも增收を示せり尙此の以外に關稅に於て二十一萬七千圓の增收あり左の如し

本年度關稅	三、〇〇〇、三七六、一六〇
昨年度	二、七八二、八二八、〇〇〇
比較增	二一七、五四八、一五〇

而して地稅が如斯減額したるは一月以降六月に至る期間即ち本年度前半季にして特に二月に於て一百十一萬二千圓の減收を算し上半期の累計に於て二百十九萬四千圓の減額を見たるも後半期に於ては每月增收あり結局十一月末日は累計に於て百一万六千圓の減收となれり

●本年度の歲入金 本年一月以降十一月迄の歲入金收入額を前年に比較するときは左の如し

本年度	一七、〇七三、二一七圓九一〇
前年度	一二、一六九、三四五、八九一
比較增	四、九〇三、八七二、〇一九

右の內租稅の外收入の重なる者は一月に於て海關工事基金八十万圓を繰入れ五月に於て同基金六十萬圓を繰戾したるも借入金百七十餘萬圓を受入れ七月に於て海關工事基金百萬圓を繰入れ八月に於て借入金二百萬圓を受入れ九月に於て起業資金三十三万五千圓金融資金十萬圓を繰入れ十月に於ては借入金二百萬圓を受入れたり

●新義州人口及戶數 現今結氷期切迫して市中一般の景氣沈靜に傾きつゝある此際在留者人口及戶數に多少の變化もあらんも知れずとて其筋に於て調査せる同地在住日韓清三ヶ國人口戶數を舉ぐれば實に左の如し

	戶數	人口
日本人	五百十二戶	千五百十四人
韓國人	九十九戶	五百十六人
清國人	百二十八戶	七百〇六人
計	七百三十九戶	二千百三十六人

右記は何れも去月末日現在を基礎として調査せるものにして本年一月前後解氷と同時に戶口に多少の減退を見たりしか六、七月頃より稍々增加を示し更に近來に至り益々增加の傾向を現はしつゝあり明春に到らば愈々稠密の人口を見るべきなりといふ

●民籍法の制定 民籍法の制定は過日の統監府に於ける參與官會議に於て制定に關する大体の方針を決定し爾來統監府內部法部の間に內部起草の原案に基き硏究修正を加へ一昨日を以て大体を了したる由にて形式上の手續を經て遠からず發布さるゝ筈なりと云ふ

●請願巡查規定 內部警務局に於て立案審議中なりし請願巡查規則は既に統監府の承認を得たる由にて一兩日中官報を以て發布さるゝ筈なるが其の內容の要領は左の如し

一、配置の請願 巡查配置の請願は所轄警察官署を經て各道に在りては內部に漢城府に在りては警視廳に願出づ

一、巡查配置期間 巡查配置の期間は六ヶ月以上とし特別の理由ありと認むるものは三ヶ月以上の期間を以て許可す

一、請願巡查の費用 は日本人巡查一人月額四十二圓韓人巡查一人月額十五圓にして此れを前納すべき事

●第三民會の議案 既報の如く第三回仁川民會は一昨日午後六時より民團役所樓上に開かれたるが出席議員は慶田、沖津、穎原、木塚、八田、加藤、田中、靑木、桑野、平山の十二氏にして最初提出せられたる第七十七號議案退任議員功勞表彰即ち元居留民會議員樋口平吾氏の功勞を表彰し金製メタル一箇を贈呈するの件は異議なく可決し次に第七十八號議案として提出されたる一時借入金即ち明治四十一年度仁川居留民團歲出豫算に充つるため金二千五百圓を限り日步三錢以內にて一時借入るゝの件も亦異議なく可決し夫れより報第二十三號同二十四號に就て理事者の報告ありしが右終て協議會に移りたるが協議會は秘密會の事とて其如何なることを協議せるやを詳細に知る能はざるも聞く所に依れば議員中より明治四十二年度稅調查委員を舉ぐるの件なりしも遂に贊同を得るに至らずして散會したりと云ふ

●實業同志會役員改撰 仁川實業同志會にては來春早々入阪樓にて總會を開き正副議長、評議員等の役員改撰を行ひ且つ午後の方針に付き協議すべしと

●午砲火藥庫落成 仁川民團役所にて觀測所に承認を得て建築中なりし午砲用火藥庫は此程全く落成し觀測所の管理に委せられたり

●鐵道員家族娛樂會 十六日午後六時より龍山鐵道員家族一同は靑年會場にて娛樂會を催す由

●圖書俱樂部の創立 京城日本人商業會議所山口精氏は今回唐本及韓書一千三百餘冊より成る書籍を購入し之を基礎とし大韓日報社の戶叶氏を初め重なる官民諸氏の贊助を得て京城圖書俱樂部を創立し當分之を壽町商業會議所內に置き廣く內外の圖書を蒐集して日韓官民の縱覽に供せんと目下計畫中の由何れ來春一月中には開館の運びに至るべしと云ふ

●廻禮廢止 淸國總領事館に於ては大喪中の事とて新年の廻禮は廢止する旨本國政府より電報に接したりと云ふ

●蘆醫員へ餞別 仁川病院蘆醫員の爲め仁川有志相謀り本日留送別會を開催するの議ありしか今回都合に依り之を見合はせ餞別を贈る事に變更せり

●院長副院長就任挨拶 仁川病院々長尾鶴元實氏及び同副院長森元良雄の兩氏一昨日富田民長の案內にて各官公衙を歷訪し就任の挨拶をなしたり

●裁判所職員の任命 法部は一昨十五日附を以て四十一名の裁判所書記を任命したるが尙近々十四五名の判檢事を任命する筈にて共に今回開廳せらるべき區裁判所の事務に從事せしむるものにして此の任命を以て今回の擴張に伴ふ職員の任命は一段落を告げ餘は明年度に於て擴張せらるゝ筈

●淸國總領事歸國の誤報 淸國總領事馬廷亮氏は歸國したる由傳へられたるも右は誤報にして同總領事は依然として京城に在勤し居れり

●芋川典獄の歸任 海州監獄署典獄芋川正彖氏は昨日下仁し仁川理事廳を訪問せるが同夜船便に依り歸任の途に就ける筈

●本田事務官の歸任 地方學事視察中の本田學部事務官は昨朝歸任せり

●臼井事務官の出張 臼井法部事務官は監獄事務視察のため公州に出張を命せられ中橋主事を隨へ明十七日夜出發す

●北村警部の歸任 木浦光州大邱の各地の視察中なりし北村內部警部は一昨日歸任

●靑坡病院在院者 昨今靑坡病院入院患者は三名に減少せり

●辭令 左の通り敍任辭令ありたり

兼任理事廳屬 統監府法務院書記 早川保次

京城在勤を命す(十六日附) 統監府特許局審査官從六位 安藤格

敍正六位 統監府特許局審查官 有賀啓太郎

同 白井良一

敍從七位(十一日附) 春日艦長海軍大佐 荒川規志

特敍勳二等賜八卦章

公人私人

▲大塚榮二郞(統監府技師) 十五日釜山へ向け出發

▲芋川正彖(海州監獄典獄) 十五日歸任

▲高根信禮(木浦民團長) 十五日入城巴城館

▲中村光吉(平壤一銀行支配人) 十五日入城不知火旅館

●愛友會の演藝會

……鐵道青年會の爲めに……

鐵道管理局庶務部鐵道工場員相圖り愛友會なるものを組織し會員中不時の病症不測の災禍に罹りたる場合は相助け相救ひて慈善の美德を發さんことに務めつゝあることは去る十二日の紙上に掲載せしが同會は單に之に止まらず豫てより鐵道青年會が同地方の兒童教育に力を注ぎ日曜學校を設立し盛んに之が機運の發展に努力しつゝあることに深く同情を寄せ本月二十五日青年會に於て開催の筈なる「クリスマス」祝ひの費用に充てんがため去る十二日夜會員一同事務所に於て素人演藝會を開催したるが非常の盛會にて觀覽人二百餘名に達したりと云ふ

●大鯨打ち揚げらる

……仁川府の裏手に……

一昨夜滿潮時仁川港仁川府の裏手に當る海岸に約八尋許の大鯨打ち揚げられたるが干潮の差激しき所とて右大鯨を淺瀨に捨て置きたる儘潮引き昨朝未明に發見し直に水產會社に右の由を通知したるより同社にては直に警察に屆け出でたるが右發見者に就き或は日本人なりと云ひ或は韓人なりと稱し目下紛擾を生じ居れるが警官出張の上右解決をなしたりと云へば遠からずして京仁の市中は鯨肉の賣聲耳を聾する許りに至るべしと

●蕎婦たきくの素性

……不貞不倫の數々を重ね……諸所を喰ひ詰む……

何所迄も不貞腐れのたきくは兩人の言葉をばさも五月蠅しといふ風体にて碌々返事さへせずソレのみか果ては得手勝手の言葉を並ぶるにぞ田中は今更ながら呆れ果て聲荒らげて然らば此の先きは何事に付けてもソナタの事は心配せざる程に自分の勝手にするがよかるべしと言ひ放ちたるにきくは却つて此の田中の言葉をよいことゝし其のまゝフイと座を立ちて表に出で其の足にて圖々しくも再び惠比壽屋に赴きさも哀れ氣に口から出任せの嘘を並べ其の世話にて梅町の惠比壽屋といふ料理店に前借五十圓にて住み込むこととなりたるが元來横着ものなれば主人に對して不利益のことのみなし剩に他の酌婦迄も煽動するより主人は大に困却し他に住み替へさせんものと或る日きくを連れて仁川に下り同地の某料理店に相談したるに丁度同店にては當時酌婦雇ひ入れの最中なりしかば早速約束纏まり前借金五十圓をば惠比壽屋の主人といふが請取らんとする際きくは何と思つてか俄かに打ち焦き綠の黒髮を振り亂し裸足のまゝ表に驅け出すや大聲擧げて泣き狂ふにぞ折柄巡廻の巡査が之を認め事の仔細を訊問したるにきくはさも苦痛に堪へ兼ぬるといふ風体にて胸を押へ息も切れ〳〵に申し立つるやう自分は龍山に住める田中といふものより恩借の金あるが實はソレをば返濟せんと思ひ同地の惠比壽屋といふ料理店に住み込みたるも主人といふが惡人にて其の時契約の前借金をば渡し呉れず彼れや是れやの心配から俄かに癪が起り御覽の通りの始末に及びたりとのことを誠しやかに申し述べたるより警官も氣の毒に思ひ早速惠比壽屋の主人をば呼び出だして其の不都合を詰りたるに事實はまるで相違し居るよりきくをば嚴重に叱責し向後は惠比壽屋の主人の命に從ふやうコン〳〵言ひ含めて放還したるにきくは何うあつても主人の言ふことを聞かず彼れや是れやと悶着したるがいつしか此の事が龍山なる田中の耳に入りしかば田中は氣の毒に思ひ右の五十圓をば主人に返濟しやりたり（つゞく）

●今樣梅川忠兵衛

福岡縣門司市田仲タニ（十九）といふは去月上旬前借金百二十圓にて龍山可祝亭より酌婦として現はれたるがタニは當時同地龍山座にて興行せし〇〇團とかいふ一行中の大根役者中村といふに熱くなり不義理の借金をして慕なき戀路を辿りつゝ焦れて夫婦となる折を指折り數ねて待ち焦れ居りしが時は去る十四日草木も眠る丑滿時中村は舞臺の上の梅川忠兵衛そのまゝに頰被りさへして密と裏口より忍び入りタニの部屋に至りて何うでれ互ひ儘にならぬ身体夫婦になるも行末遂げればイッソ何れへか高飛びし共に苦勞がして見たいと驅け落ちを勸めたるにタニは大に打喜びそをなさんとなら何處へでもと早速相談纏まり互に手に手を取り明けの鐘の六つを合圖に同亭を拔け出で麻浦街道を一直線に一山停車場にと赴きソレより滊車にて汝山に至り停車場前の待合にて一杯酌み交はし居る處を折柄來合はしたる西部署の刑事大塚氏の爲めに發見され女をば元の古巣に追ひ返へされたり

●不正巡査

……百餘圓を騙取す……

黃海道金川郡邑內居住金東海（三）及び宋永華（三）の兩名は金川郡巡査駐在所在勤中去る頃同郡古縣面鵬浦洞李大自、李致康、李允伯、金澤熙の四名が金員を匪徒に供給したりとて駐在所に引致し拘禁したるうへ貴樣等はそれから瑞興警察署へ送れば何うしても罪は免かれないが其處は魚心あれば水心ありでそれ迄に三人で二百圓出せば內分にして遣る何うだ〳〵と恐喝し結局百二十圓出すことにさせて三人を放還したるが此事はその筋の耳に入り金及び宋の兩人は直ちに取押へられ海州地方裁判所に送致されて取調べを受けたるに彼等は當時三人より金を預りたるまでにて決して騙取せしにあらずと申立てたるも其の申分立たず去月十九日海州地方裁判所に於て兩人とも各懲役三年に處せられたり然るに兩人は此の判決を不當とし此程平壤控訴院へ控訴し一昨日同法廷に於て柳澤裁判長及び肥田、中兩判事の掛りにて柿原檢事立會ひ之が公判を開きたりといふ

●來春の髮

……丸髷、文金島田、銀杏返し、桃割……

先づ丸髷は今春よりも一が心持高くなつて緣を切り立て至極立てるものが生粹であるといふ又文金島田では以前よりも根を下げ一を立て前髮をきつちりと極立てるもして掛物も今迄は目覺るやうな眞紅のものが迎へられたが來春は白の兩房のついたものに限られるさなきだに若い表情に富んだ紅をのまゝを表したやうな鬂子には白の掛物の方が何となく奥床しくつて純白に見わて可からう之に反して銀杏返は根を上げ髷を小さくする桃割も同じく根を大きくし兩者と髷の方の割をつめ從來より心持髷を大きくし前髮を極立てるのが流行の粹だと云ふソレを今迄引詰めたものと比較すると稍派手のやうにも聞ゆるがその派手が云ふに云はれぬ高尚な處があるこれを今年のものに較べて見ると一層掬すべき詩趣がある第一に上品だソシて地味で意氣な點は宛然で黒地に結綿をした半襟を見るやうである

●仲仕の格鬪

仁川龍岡町居住仲仕山口縣生れ金村荒太郎及び同地宮町一丁目阿部運送店の仲仕福岡縣生れ箱島源之助の兩人は一昨日仁川稅關構內にて荷揚中僅かな言葉の行違ひより摑つた摑んだと爭論を始めたる末荒太郎は無法にも手にせる棒衡の棒を以て源之助の頭部を毆打したれば何かは以て堪るべき源之助は頭部を割られ出血したる騷ぎに警官出張し加害者荒太郎を本署に引致し源之助をして直に高木病院に入院せしめたるが傷は左程の重傷にあらざれば生命には別條なしといふ

●しるこ屋の夫婦

去月初旬頃新町一丁目に御膳しることいふ肉太の勢のよい東京流の看版を障子にあしらい開業したる新店あり一家は若夫婦丈にて一名の雇人をも使はず御亭が鹽加減を見れば女房が客の前に膳を運ぶといふ夫婦共稼ぎの特勝さ二人の仲も至つて睦まじく商賣柄れ互に甘つたれ餘所の見る眼も羨ましき程なりしが女房といふが大の浮氣ものにて日を經るにつれて男に飽きが差し僅か一月たゝぬ中に男に秋風を立て仇し男を拵へたことがいつしか御亭の耳に入り夫婦喧嘩の絶へ間とてはなかりしが結局男は女に愛想をつかし店を疊みて國元へ歸りたるより女は已むなくある所に下女奉公として住み込みたるが何んでもその女といふは元南山町は二つ巴の名に因める旅館に仲居をなし居りしとかの投書だ「れセッカイ生」とかいふものより舞ひ込みたり

●命拾ひの散財

目下仁川に碇泊中なる留平船乘組員田邊兼助（五十）と云ふは一昨日上陸して直に同地猫島飲食店碇川樓に登り私は船乘だか一昨夜藥所で難破し命からく漸やく仁川に上陸したのだから今夜は命拾ひの祝ひの爲に思ひ切つて飲まして下れ但し金は懷中に二十圓持つて居るさ大吹螺を吹き酒肴を命じて四圓八十錢の散財をなしたる後イザ勘定となるや前の言葉は何處わやら懷中無一文もなきに碇川樓主人船越六三郎は業をにやし付馬として右の船內に至りたる所船中にも一文もなく他の船頭より冷かされたるより終に兼吉同伴警察に訴ねたるが兼吉は懇々說諭を加わられ代金支拂ひの上放還せらる

毎日種痘　南山町二丁目　植村病院　電話三三〇番

●雲煙漂渺

廣島城生れ山崎トモ（三十）は本月五日西部青坡十五番地料理店永尾方に前借五十五圓にて雇はれたる女なるが一昨々日の夜風呂に行くと稱して出で行きしまゝ何れにか姿を隱したり生れ故郷は定からねど池島ハル（三十）といふは去月前借五十圓にて長谷川町吾妻亭に雇はれたるが本月十三日の夜トロンを極め行衛不明なりと因に吾妻亭の女將の曰くに「ハルは近頃大層に沈んでゐましたが若しや鐵道で死にはしませんか知らん或は情夫の加藤某なるものと逃げたのかも判りません」と

●明治町の出火

明治町一丁目八十七番戶ランプ商寺田昇三郎方にて一昨日午前三時頃炊事場に在る七輪の火が炭俵及び外數個の箱に入り將に大事に至らんとする所を消し止む

質屋開業　京城本町七丁目　松田慶之助

●不審の男

本町三丁目足袋商中野彦次郎方へ一昨夜十一時頃氏名不詳の職人体の男來り足袋を買ひ五圓紙幣を出したるより彦次郎の女房は四圓七十五錢のつり錢を渡さんとしたるに右の男は「此れは何だ今のは十圓紙幣であつたぞ」と言ひ張り翌朝來るから考へて置けよと其まゝ立去りたりといふが横着な奴もあつたものなり

●敷島樓支店移轉

仁川敷島遊廓敷島支店は今回遊廓の入口元播半樓の跡に移轉し大に出嶋連吸引に努むることゝなり尚大坂より光良こと須藤とよ（二）千良事內藤エン（二）雛良事木崎コウ（二）芳良事木崎フデ（二）の四名の新妓を輸入し昨夜より開業したりといふ

●一昨夜の火事

一昨夜南部誠明坊五十七統八戶山田鐵五郎所有物置小屋より發火し同物置一軒燒失し午前一時鎮火せしが原因は放火ならんといふ

●狂人交番所へ來る

一昨日午後一時頃本町交番所へ一人のヨボ入り來り何事をか饒舌出したるも言語不通依つて韓巡査をして取調べたるに狂人と明つたので放還す

●龜屋商店の寄附

京城本町三丁目總屋商店の景品付冬物賣出に際し一等賞當選の抽籤券所有者不明にして十一月三十日の有効期限を經過するも受取人なく依て同商店にては該賞金勸業債券二百圓を何か有益なる方面に寄付せんと寄贈先を撰定の處本月七日目下計畫中の京城日本人商業會議所內京城圖書倶樂部に其全部の金を以て書籍を購入すべく寄贈せられたり

●秋山商店の景品附賣出

郵便局前の秋山商店にては去る十五日より景品附歲暮賣り出し中なるが非常の盛況にて一等郡內蒲團一組二等瓦斯蒲團一組三等更紗蒲團一組他に一本も空籤なしといふ因に一圓毎に福引券一枚を進呈する由

京城壽町一丁目　牧野旅館　（長電話三十九番）

●甲田商店の勉強

熊本縣人甲田種次郎氏今回南大門通り四丁目に西洋雜貨店を開業したるが價格非常に低廉にて品物も亦確實なるものなれば開店以來なか〳〵の大人氣なりといふ

●本町座の替り狂言

同座本晩の替り狂言は『新木作り肥後の駒下駄』にて配役は左の如し

奴駒平（中村龜太郎）下女れすぎ、妻れさわ（實川八百升）細川肥後守、松田新藏（尾上卯多四郎）娘れぬい、娘まつへ（中村紫一郎）松田秀之進（中村笑幸）八坂源次兵衛（市川壽笑）役割宗次（澤村竹三郎）中川縫之助（關三十郎）

廣告

年暮年玉用菓子　特別大割引
東京流生菓子箱詰
カステイラ折詰
西洋菓子鑵詰
其他菓子一式
右御進物用として高尚優美なる品澤山製有之候間多少に不拘陸續御用命奉願候
龍山旭橋通り　東京堂
同本町一丁目八號官舍前　東京堂支店

土耳古金口煙草ロロ　インペリアル　茶褐色スポルト　各種
京城代理店　歐米雜貨商　京城本町六丁目　岡野商店　電話（五七一番）

最良防寒具各種

眞綿製筒袖　壹圓六十錢
同ズボン下　壹圓六十錢
同チョッキ　八十錢
同サルマタ　壹圓
同ソデナシ　金壹圓
商袖ハ老人婦人用向
前金注文送料一枚に付內地八錢滿韓太廿錢二枚以上五錢增代金引換注文內地廿二錢海外四十錢二枚以上五錢增御資料引す
輕く暖く膚ざわり善きは毛織に優り防寒具中其第一なる好評有
眞綿足袋四十八錢送料三足迄內地八錢海外增
堅牢防寒靴
深編、五寸製金九十五錢
同　特製　金壹圓二十錢
同　長深　壹圓卅五錢
上圖は並深の實形也送料一足內地十四錢海外卅五錢引換は十二錢增本靴は表は上等ズック裏は毛布中に毛を包み底は二重皮にて數多の鋲を打ち堅牢温かなる防寒雪山氷河も踏破する概あり防寒羅紗類靴金七十錢送料內地八錢海外前通
大阪市東區釣鐘町一丁目　合資會社　中外用達會　（振替口座第五二四七番）

辯護士　岩田仙宗　明治町二丁目　電話三五四番

大勉強廣告
本町一丁目（郵便本局前）　小林時計舖
各國時計貴金屬　眼鏡類各種
本町二三丁目聯合大賣出ニ加入シ本月十六日ヨリ三十一日迄御買上金五十錢毎ニ大景品券一枚ツヽ進呈ス
弊店ハ特ニ正札ヨリ一割引ヲ以テ販賣仕候間陸續御來店ヲ奉希上候
但シ純金製ハ割引ナシ

開店御披露
歐米雜貨類
精良品破格大廉價販賣聊か景品進呈仕候
南大門通三丁目　泉屋甲田商店　電話七百十七番

防火劑エンペル
ニシナ保温劑
第二回特許品展覽會　長野縣聯合共進會　三等賞受領
防火の外防水耐寒の諸効力を併有せる新發明新建築材料也土藏式煉瓦式建物の塗料及土間等に最も適當
汽罐汽管保温の效力優大なることアスベストの比にあらず醸造用品として成績證明あり
說明書郵券二錢添御申越次第送呈す
發賣元　東京芝區愛宕下町一ノ二　電話新橋（長）四五五七　合名會社　仁科商會
代理店　東京京橋區　守谷商會
北海道代理店　北海道札幌區北一條西六丁目　電話六十一番　北海道鑛農商議館

西洋料理
東京高輪壽し
會席料理
丼類いろ〳〵
折詰辨當
同サンドーウヰッチ
南大門停車場構內　ヱーテー淵田

昨冬發賣以來大好評を博したる　專賣特許第六四四二
防寒用衛生股引
●本品は防寒衛生と云ふ點に於て最も苦心しある故本品を着用せば如何なる極寒と雖も冷込み憂なく一度是れを着用して忘るる能はざる情感をるべきは濕氣に付軍人官吏會社員男女學生看護婦等には尤も適當品にして殊に子宮姙娠等には特効有之御婦人用は着用して兩便共自由に出來申候
價格　一着　一圓四十錢より貳圓迄
婦人小供用　一圓三十錢より一圓八十錢迄
○韓國地方は一報次第配達可仕地方は小包料入御申越次第御便利御相談可仕候
特許衛生股引商會韓國總代理店
京城本町裏通一丁目（濟國領事館正門通）　町田商店
特約販賣店　仁川仲町一丁目十三　辻桃代

(四) (第三種郵便物認可) 明治四十一年十二月十七日 京城新聞 (木曜日) 第百卅七號

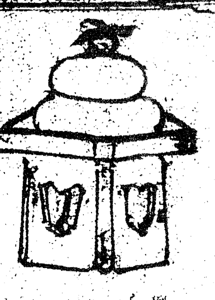
用燃料 無煙煉炭

●特色 火付善く火力耐久價格低廉
●用途 瀛鑪、暖爐、竈用に適す
●周防德山海軍省煉炭所東隣

谷口無煙煉炭工場

京城特約店 京城南大門通 電話六〇三番 巴商會 韓國一手販賣

京城太平町二丁目 神田組



年の餅廣告

例年の通り原料糯米精撰入念調進仕候に付多少に限らず御用命奉願候
但しちん搗も仕り候

本町一丁目郵便局前
東京名菓製造本舗 大和軒 (電話四八九番)

◀轉宅荷物運搬 (京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負)

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚ほ弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其賠償の責に任じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側
有田運送店 店主 有田豊太郎

景品付聯合大賣出し加盟店
金五十錢毎に景品券一枚進呈す

米國製銀判 繍上ゲ靴
獨逸製銀判 繍上ゲ靴
ボックスキャフ 六圓
半裁ボックスキャフ 繍上ゲ靴 四圓九十錢
和キッド 繍上ゲ靴 三圓五十錢
米國製銀判 一枚革製靴 ボックスキャフ深ゴム 六圓五十錢

京城本町一丁目理事廳横通 富田製靴店
京城本町六丁目 富田支店

●地方より御注文の方は引換小包に應ず料金は殊に弊店にて相働き申候尚御足に合はざるときは御返戻の事

電話開通 五九八番

東京生蕎麥 天麩羅饂飩并並に仕出し
南山町三丁目 天金

開店廣告

GD

トルコ高等金口煙草
品質精撰、香味佳良、裝匠艶麗
年末御贈答適當品

右今般開店仕候に付ては多少に不拘御用命被下度奉願上候

京城明治町一丁目(漢城病院前)
トルコ烟草商會

舶來品直輸入大販賣
日本
京城支那領事館通
清韓洋行
電話四九四番

景品附聯合大賣出し

年稍既に迫り年内餘日無き折柄我明治町一圓相聯合し景品附歳暮大賣出し開催仕り薄利、多賣の主義を以て精々顧客の御便利を圖り將來の御引立を仰ぎ度候間多少に不拘續々御來購の程偏に奉希上候期間及景品の方法種類並に加盟商店を列記し茲に依而左に廣告仕候也

一 大賣出期間は十二月五日より同月三十一日迄とす
二 聯合加盟店は商品代金五拾錢毎に御賣上は三圓毎に景品券一枚宛を呈すべし但貸賣は此限りに非ず
三 景品券は即時事務所に於て景品と御引替可申候
四 事務所に於ては毎日午前九時より午後十時迄景品引替を爲すべし但三十一日は徹夜相渡可申候
五 景品は壹等精白米五斗入貳十俵を初めとし絹滿棚、舶來ブリストルエキストラ置時計、西洋トランク、洋酒、オンバチス、貳枚續舶來毛布、寶石入金指環、タバン會社銀側無双懐中時計、相生糸鑵、掛時計、洋傘、石油、醬油等美景山の如く事務所に陳列して公衆の觀覽に供す
六 景品券には壹本も空籤なし
七 景品進呈上正確を證する爲左の有力家に監査を請へり

城六太君 羽多野彌三郎君 林田金次郎君 羽多野彦三郎君 田中始一郎君 藤田謙一君 大東南生八君 沈宜碩君 森村大郎君

明治四十一年十二月
明治町聯合大賣出事務所

山本雜貨店 櫻井時計店 友谷金物店 岡田小間物店 江里口紙店 河上履物店 初田紙店 桑原太物足袋店 原洋服店 大坂屋洋服雜貨店 小林民雜貨店 伊藤履物店 柴田菓子店 有田雜貨店 唐川綿反物店 三桝屋 瀧川銃砲店 羽田藥房 宮崎支店印刷所 橋口雜貨店 中村商店 勝木洋傘店 近藤雜貨店 片桐家具店 鈴木洋服店 杉田新炭商 廉敬模米煙店 八木菓子店

藤山明治堂支店 田中靴店 高木二樂堂 ま商會支店 尾川玩具店 石川ターニー商店 大島提燈店 安達ブリキ店 石田菓子店 高岡洋服店 古賀馬具店 高雄醬油店 寺田陶器店 安部古物店 山邊雜貨店 西山酒醬油店 竹上洋服店 富士材木店 北村靴店 清水食料雜貨店 今井食料雜貨店 河野商店 佐々部洋服店 山野光進舍 野村雜貨店 石田醫療機械店 李德有米店 金武飲食店

山本菓子店 ゑり德 金化堂時計舖 吉川金光堂 井上洋服雜貨店 田中藥店 寺田菓子店 幸野提燈店 シエリス貰商會 舶來雜貨小林支店 石田精肉店 川崎提燈店 松本雜貨店 田中時計店 藤川雜貨店 煙火器中央商會 岡本天眞堂 中川商店 沖野商店 米川商店 酒商平田支店 深作餅店 中尾軍刀店 小川藥店 江原商店 尹貞爽材木店 名古屋飲食店 岩尾古物店

天ぷら御料理

併辨當仕出し
尙御注文に應し何時にても調理可致候

京城壽町三丁目
電話六八六番 松金

本町聯合景品付大賣出し

歳暮御進物用最適當品

京都名產 蕪千枚漬小桶入
特產品 京都名產 奈良漬小桶入
瓜茄子、西瓜

右は下店韓國一手販賣…其他各國名產鹽辛類諸鑵詰萬漬物類各種
御買上金高五拾錢毎に景品券一枚進呈す

勉强の親玉 京城本町二丁目 本店 日下部漬物店 (電話百十二番)

おなドみ 漬物や 龍山榮町 支店 日下部漬物店

移轉廣告

新築落成に付左の所へ移轉す

大和町軍司令部通
小川病院

今回尤も老練なる松岡繁太郎氏を聘し左之通り分擔治療に從事仕候

内科 小兒科 院長 小川末五郎
產科及婦人科
眼科
外科
花柳病科 副院長 松岡繁太郎

歳暮大賣出し

美術半衿帶上
男女羽織紐、帶締
御題模樣御衿地
同御吊沙地
肩掛、首卷

各新荷揃

明治町聯合景品附大賣出しに加入せしは勿論なるも弊店は華客各位平素の御愛顧に報いん爲め特に副景品として一等より三等迄の大福引券を金五十錢毎に一枚進呈致すべく候
尤も福引は一月三日弊店に於て舉行仕候間當日景品券御持參御來店被下度候敬白

壹等 精白米 一俵
二等 清酒 一樽
三等 ビール 一箱

明治町一丁目
ゑり德

開店披露

染地手拭太物製造販賣
(印入手拭風呂敷袱紗品ハ美麗ナル包紙ヲ無代進呈ス)
允坪屋足袋製造販賣
(四ツパセ千鳥縫ハ別製品)
關戸蚊帳株式會社特約店
侖羅紗インバコート一服類販賣元
㊥びん付石鹸一手特約店

來ル十二月五日全部品撰致候開業賣出シハ十二月一日ヨリ京城着元價向フ卅一日マデ正價ノ一割引

明治町二丁目(元帝國一跡)
允 桑原久藏商店
電話四八三番 電略ヤマクヌハ(ク)

龍山旭抜通り 桑原支店 電話百十二番

入院隨意

京城壽町三丁目(元阪井病院跡)
高井醫院 (電話二一六番)
院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治

菓物 [illegible]

日本郵船株式會社 (電話八十番)
瀛船仁川出帆廣告
仁川海岸通 貨物及船客取扱店 郡回漕會 (電話三九番)
京城南大門通 巴商店 (電話三〇六番)

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 十二月二十日後三時出
●大連行 高砂丸 十二月 日後一時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月 日前五時出
●大連行 酒田丸 十二月廿二日後一時出
●釜山出帆、浦鹽行 立神丸 十二月

注意 御乘船ノ際ハ棧橋波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ棧橋解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金卅五錢 ▲三ヶ月前金壹圓 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲郵税一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城新聞社 京城西大門通 電話六六三番